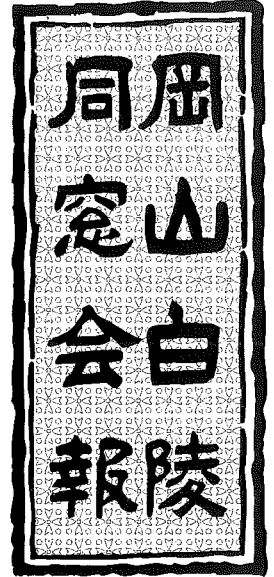




新校舎（管理棟）完成予想図



第 6 号
 平成 7 年 1 月 1 日
 発行 岡山白陵会
 〒709-07
 岡山県赤磐郡熊山町勢力588
 TEL.08699(5)1255

20周年に向けて



1 期 生 資 正
平

「ちやで。」高潔な人格とはいかないが性格面はまあ良からうと。他にほめる所も無かったのだらう。ほめられたのじゃ無かったのかな。

そんな我々も「そば一杯停学事件」やら「小テスト小細工事件」やらで先生方を悩ませた物でした。当時の停学事件の報道に、批判の多い中で「日本人は『自由と規律』を読み返すべきだ」という外国人記者クラブのコメントには園長先生の心中、我が意を得たりという感があったであろう。

ドレミの歌・B1チョップ、今日授業無しで歌の練習／ファイヤーストーム・停学期間の溝掘り道造り・東北ツアー・等々、恥多き事ばかりのあの時代の思い出を書けばきりが無い。生きておられれば園長先生も64歳。20歳を迎えた岡山白陵に何といわれるだろう。願わくば進学率の良いだけの学校で無く、園長先生の理想とされた学園を追求し続けて頂きたいものです。

間も無く岡山白陵が20周年を迎えるとお聞きしました。私が卒業した後に産まれたお子さんが、既に後輩として入学しておられるという計算になります。さらに驚くべき事に、特に二期二期生の皆さん我々は三木園長が高砂に白陵を創設された年齢になってしまっているのですよ。毎日毎時限休む事無く全校生徒に授業をされ、学校の運営を考え、休日も自宅で生徒を教える、あのエネルギーはどこから来ていたのでしょうか。

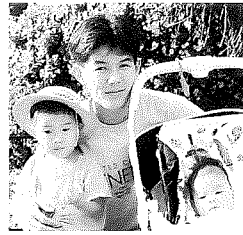
思えば昭和51年の雪の日の始まりでした。園長はよく言われました。「高潔な人格」「高い学問・技術」「強烈な個性」それらを備えた人間にならなさい。せめてなる努力をしなさい。コマみたいにいっつも回ったたら、こけたりせんのや。又、一向に成績の伸びない当時の岡山白陵の生徒に、少し楽しそうに、こうも言われました。「おまえら、氣イのええのもアホのう



思い出のメモリー

岡山白陵の思い出

6期生 秋田 光寛



「高校3年 間」これは私にとって大変つらく眠り時期であったが、同時に楽しい時期でもあった。私が樂觀主義者である事がその一因であるかもしれないが、友達に恵まれた事が最大の原因だと思ふ。

朝から晩まで勉強ばかりの毎日。一見どこが楽しいのかと思われるかもしれない。しかし、ずっと考えていた物理の問題がひらめいた瞬間、園長が休みとわかった時、今では考えられない喜びがあった。
下校してから夕食までの数時間、ただ目的もなく集まってだらだらと過ごしたが、時には何てこともない問題について必死になって議論した。土曜、日曜になれば、ソフトボールをした。ラジカセを借りてきて好きな音楽を満喫した。そして周囲にはいつも友達があった。寂しい時、落ち込んだ時、別に

励ますわけでもないが、いつもそばにいてくれた。この友達のおかげで暗くなりながら高校生活を楽しく過ごせたのだと思ふ。今後も大切につきあいていきたい。

私と岡山白陵

6期生 嵯峨山 敦



卒業して10年 以上が過ぎて、周りでも各出身校別に同窓会が開かれているようです。

私は山陰の片隅で勤務していますが人口移動が少ないためか、同僚の出身高校に著しい偏りがみられます。

もちろん弊害もあるのかもしれませんが、彼らの同窓会を中心とした結束および各方面にわたる情報ネットワークを目のあたりにしていると、驚かされる事が多々あります。

情報だけが独り歩きしているのではなく、世代や分野を越えた、人と人の交流に裏打ちされているので少し羨ましく思っています。

歴史が浅いため、母校の同窓会はこれからだと考えています。この後発展を続けても、人の交流を基盤としたものであって欲しいと願っています。

孝行時代の思い出

6期生 吉藤 真仁



月日のたつのは早いもので、僕等6期生が卒業して10年余りが経った。岡山

白陵という名前すら知らずに受験し、入学した僕は大阪で小・中学時代を過ごしたいわば疎開組であった。

吉井川の霧に驚き、霧が上がると周囲の田舎の風景に驚き、動かない椅子と机、園長の迫力、ドイツ語、寮生活、入学しての何ヶ月は、霧に包まれた気持ちだった。しかし順応性がいいのかしばらくすると姫路、岡山の町が都会だと感じるようになり、大阪に帰るのが「帰省」（ふつうは田舎に帰る事を指すのだが）という奇妙な生活が当たり前になった。

しかし、そのギャップは大学で大阪に戻り、高校時代の話を友人とすると、たいていは信じてもらえないか酒の肴にされると言う代物で、園長様やドレミの歌の話を通りすると、やはり僕

らの高校時代は孝行時代であったと感じざるをえないものだった。

そんな6期生であるが、10年ぶりに同窓会を行うという事で、当時担任をして頂いていた田原、大森、間野先生も交え華々しく新大阪で行った。

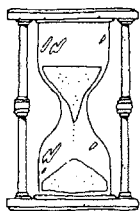
そこには、見事にギャップを乗り越えた今やそれぞれの世界で立派に活躍するかつての丸坊主の友人達が次々と現れ、懐かしい思い出話に花を咲かせた。

かく言う自分も大学卒業後3年間の勤務医生活の後開業し、忙しい日々を送っているが…。

今思えば、僕らがこうして頑張っているの、あの孝行時代があるからだと末筆ながら岡山白陵に感謝したいといけないと思う。

最後になったが、ワープロが調子が悪いのかどうも孝行という字になかなか変換しないようである。

6期生のみなさん、次の同窓会の機会にもぜひ参加して下さい。連絡が付かずに案内できなかった人は、連絡下さい。皆様の益々の活躍をお祈りいたします。



思い出のカバン

14期生 池上 奈津江

「白陵カバン」が私は大嫌いだった。なぜなら変だったからだ。こんな学校来るんじゃないかとさえ思ってたくらいだった。私は岡山からの通学生だったのだが、初めのころ一番街を歩くときは壁づたいに歩いて壁側の手でカバンを持ち人目に触れないようにしていた。

そして白陵には、そんな変なカバンにお似合いの「変な人」がたくさんいた。女子はもちろんまともな人ばかりだったが、先生や男子は変わった人が多かったと思う。普段おとなしかったが、ハエの飛ぶ速度の測り方を日誌に書いて実はそんなことを考えていた変な人。かんかん照りの日に黒いこうもり傘をさし、直立不動で自転車に乗っていた変な人。いつでもどこでも走っていて、走る前には必ずびよんと跳びはねてた変な人。数え上げたらきりがないので、このへんでやめて先生方のことはあえて書かないでおくが、私はこの人達のが嫌いだっただけではない。この楽しい人達が実は大好きだった。

さて、私の嫌いだったカバンは、私が卒業してから黒いカバンに変わり多量になったようだ。しかし私は嬉しくないのだ。あのオリジナリティーあふれるあのカバンを後世に残して欲しかった。私からすれば、白陵生はやはりあのカバンでないと白陵生という気がしない。どうもあのカバンのことは、私にとって嫌いだったがゆえにかえって思い出深いものになっていくのである。

それにしても、カバンが思い出の品になったとは、もうそんなに時が経ってしまったということなのだろうか。月日の経つのは速いと改めて感じた。

そして、今ふと懐かしく思うということは、寂しさや伴うものがあるなあと思っ



熊山では

14期生 西村 英治

私達14期生が卒業してはや2年と半年が過ぎようとしている今日のごころ、第二の故郷とも呼べる熊山も時代の波が押し寄せ、私達が在学中にはまだ未完成であった山陽自動車道も今や、関西と九州を結ぶ大動脈として、車が激しく往来し熊山の町並みも僅かながら変化を我々に見せてくれています。そして母校岡山白陵も中学校校舎の前の駐車場に管理棟を建設し、より一層の教育施設の完備を行っています。このように、変わり行く熊山の町を通学路

としていた僕が見た、当時と今の熊山の変化を具体的に述べて行こうと思えます。

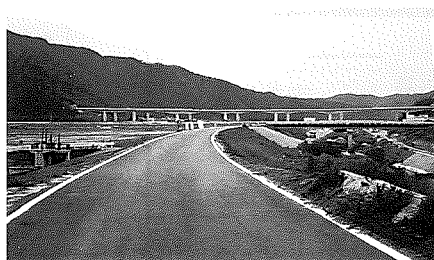
まず始めに思い付くのは、熊山の銀座通りと呼ばれている？松木交差点（Aコープ熊山、よろずやなどが近くにある）は、道路の拡張工事が行われたため工事の邪魔になる建物は取り壊され、代わりに新道沿いに立派な建物が少し建てられ始めているので以外と近代化されています。多分、熊山に何年も来られていない方はその変貌ぶりに驚かれること間違いなしでしょう。

次に思い浮かぶのは吉井川を隔てた対岸に広大な工業用地が用意されていること。

この広大な土地は、高速道路の波及効果狙って企業誘致をまくろんだわけですが、

バブル崩壊により各企業とも工場建設に対して慎重にならざるをえない状態であるため、今だ空き地になったままです。しかしながら、T1サーキット英田で行われるF1グランプリにマイカーで来られる方のために、この空き地を駐車場にしようという計画があるらしいです。

このように熊山はここ数年の間で大きく変わってきています。暇がある方は一度熊山見物に来られて見てはいかがでしょうか。



なつかしの熊山

8期生 山本道代

卒業して、はや10年がたとうとしています。現在、私は広島県福山市の歯科医院に勤務しております。そこは福山市のいずれで、JR福塩線の横尾駅の近くにあります。熊山よりは「まち」だと思いますが、周囲には田畑も多く残っています。この横尾駅の近くにはある私立の中学・高校があり、仕事の帰りに駅に行くとその学校の生徒であふれています。秋も深まり周囲が暗くなるのも早くなると、あかりの少ない駅までの道を学生がにぎやかに話をしながら歩いているのを見て、白陵時代にこんな風景を何度も目にしたの思い出さずにはられません。

先日、名簿の件で松本君と話をし、「学校の周りもだいぶ変わったなあ。」というコメントを聞きました。私は、学校の近くに実家があるので、徐々に変わりゆく学校の姿、周囲の風景を10年間見てきましたが、卒業して一回も学校に来られていない方にとっては驚くほどの変わり様なのではないでしょうか。

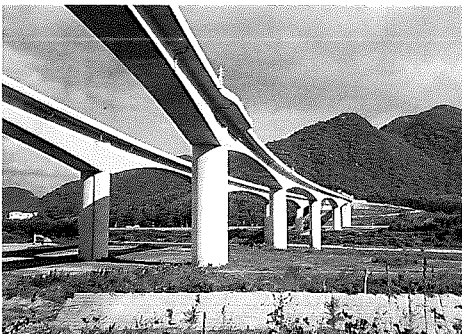
そこで、なつかしの熊山を簡単に紹介してみたいと思います。

熊山町 MAP



松木の交差点

拡幅され右折レーンができました。自転車で買い物に行く寮生の姿は今も昔も同じです。



吉井川

吉井川にかかる山陽道の橋を下から撮ってみました。



至山陽町

Aコープ

何と屋根の上には風車が、
昼はちゃんと回っています。夜にはネオン。

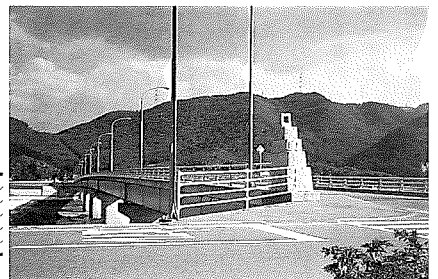


〒

至和気



熊山郵便局



熊山橋

今にも落ちそうだったあの橋がこんなに立派に。

一九八六年三月
岡山白陵卒業

一九八八年八月

第一回同窓会 (大阪にて)
参加者60名ほど。にぎやかな会だった。

一九九〇年四月

8期生の会発足
一冊目の名簿発行に際し連絡がとれない人が多く大変苦労した。二度とこんなのはごめんだと8期の同窓会名簿を毎年発行することになった。おかげで今回は前回に比べ楽だった。

一九九二年一〇月

第二回同窓会 (神戸にて)
参加者20数名のちよつとさびしいもの。みんなもつと来てね！
この5年間の返信のうちの一部を紹介します。こんな事あったかと思ひ出してみてください。(敬称略)



一九九〇年編

僕は今年が、就職活動の年ですが、進路は何も決まっていません。悩みの多い今日のごろです。にもかかわらず、6月あたりにはイタリアにサッカーを見に行こうかなとか企んでいます。先日チラと親にその話をするにあきらめました。(池淵 健)

8期生の輪

4年になって研究室も始まり忙しい毎日です。(浦上雄二郎)

大変ご苦労様です。私自身東京に居ついてしまい、関西方面の人とは電話でしか話ができず寂しく思っております。いつか必ず同窓会をひらいて下さい。(内藤康文)

元気でやっています。ハッハッ。(長島 議斉)

阪大は苦しい。(元江 靖憲)

一九九二年編

専門学校へ行ってます。(赤尾達也)
とうとう就職を決めなければならぬ年になってしまいました。本命は一人のみ。他の会社は一切受けません。落ちたらどうしよう。(飯屋 嘉彦)

うちの元希もずいぶんおおきくなりました。もうイタズラばかりしています。(田村ユカリ)

来年は国試なのでお互いがんばりましょう。(寺浦 康夫)

仕事面では半年営業課の後、外為も半年経験し、一か月以内には二度目の異動でローンへ行くのではないかと思われる。結婚はまだ相手もないし、したくもないが上司にさんざん言われ続け、毎日逃げ回っている。(行方 淳一)

なんとか4年になれて就職活動でいそがしい毎日です。来年の同窓会が楽しみです。(湯ノ口 勝)

一九九四年編
返送が遅くなり申し訳ありません

した。河野は結婚に伴ない、戸田市から大宮市に移転致しました。よろしくお願ひします。(河野 聖穂)

GATTウルグアイラウンドの国内関連作業が大話をむかえ、色々と面倒な事が多く、ぼうぼう状態が続く毎日です。はやく涼しくならないかな。(濱口太未)

関西という引力により京都におります。内科から眼科へ変わり何かと勝手も違いますが、相変わらず楽しく過ごしています。(村瀬 善子)

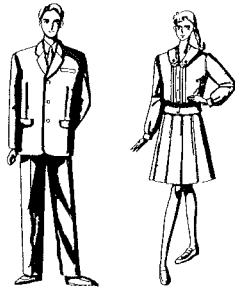
連絡先不明者

慈 一 憲
岩 木 賢 一
黒 佐 下
御存知の方よろしく。

今回の名簿編集にあたり、ハガキを返してくれなかった方、不備があった方に電話連絡しました。本人と話ができる場合は問題ないのですが、母親の場合、私が女であるためか、なかには用件を言いかけたら「息子はいらぬ」と言っていましたから。」と怒鳴って切った方もおられ不快な思いをしました。私からの連絡が嫌な方、必ず完璧な返信ハガキを返して下さい。

母校より

どんどん発展していく母校を、今まで以上に応援しましょう。



男女共色は濃紺。男子は三ツボタンの子定。女子はセーラーカラーになっています。

我が母校岡山白陵も平成八年二月で満二十周年を迎えます。母校でも、それを機にいろいろな変化を考えています。まず、管理棟の建設。第一ペーシのイラストがその完成予想図です。現在の中学校舎前に建設中です。平成七年の夏に完成予定です。その中には事務室、職員室、コンピュータ室など、学校の管理部門が集約されます。それに伴い、今ある職員室は普通教室に改造され、体育館の下は格技場に改造されます。もう一つの大きな変化は、制服です。男子はスータイプに、女子は少し古風で、上品なものにかわります。どちらも、かの有名なデザイナーの山本寛斎氏がデザインしたものです。(左のイラスト)

大学入試合格者数調

国公立大学	2年	3年	4年	5年	6年	私立大学	2年	3年	4年	5年	6年
東京大学	1	3	1	5	9	早稲田大学	12	6	14	9	10
京都大学	5	12	11	14	10	慶応義塾大学	12	9	19	12	9
大阪大学	7	7	8	4	6	上智大学	0	5	0	1	5
北海道大学	0	3	3	1	0	東京理科大学	7	9	6	5	8
東北大学	2	3	3	4	1	関西学院大学	13	8	22	16	16
名古屋大学	0	0	2	1	1	関西大学	24	17	29	17	15
九州大学	4	2	10	3	3	同志社大学	8	10	20	15	19
神戸大学	2	4	8	6	9	立命館大学	7	4	14	10	18
岡山大学	5	8	8	6	7	大阪医科大学	3	6	4	2	3
広島大学	0	5	4	4	8	関西医科大学	3	3	2	3	6
大阪市立大学	3	1	1	3	1	兵庫医科大学	3	3	1	3	6
他国公立大学	72	107	105	74	61	他の私立大学	80	102	104	114	73
国公立大学計	101	155	164	125	116	私立大学計 (内医・歯)	172 (25)	182 (30)	235 (16)	207 (32)	188 (32)
(内 医学部)	(10)	(13)	(28)	(19)	(8)	卒業生数	123	148	193	173	153

同窓会より

同窓会名簿が出来上がりました。役員の方には大変お世話になり、ありがとうございます。調査の段階で、購入希望とされた方と、購入不明の方には振込用紙を同封いたしました。その用紙で、2千5百円を振り込んで下さい。振り込まれた方から順に名簿を送らせていただきます。ただ残念なことに、今回の調査でも、住所不明のため、連絡が取れなかった会員もいます。もしご存じの方があれば学校まで連絡して下さい。

母校も二十周年を迎えようとしています。できればそれに合わせて、同窓会総会を開きたいと準備中です。何かいい企画があったら教えて下さい。

編集後記

今回からこの同窓会報も、いろんな回の役員方が手伝ってくれることになりました。さらに充実した会報を目指したいと思えます。何かいい企画があれば教えて下さい。お願いします。